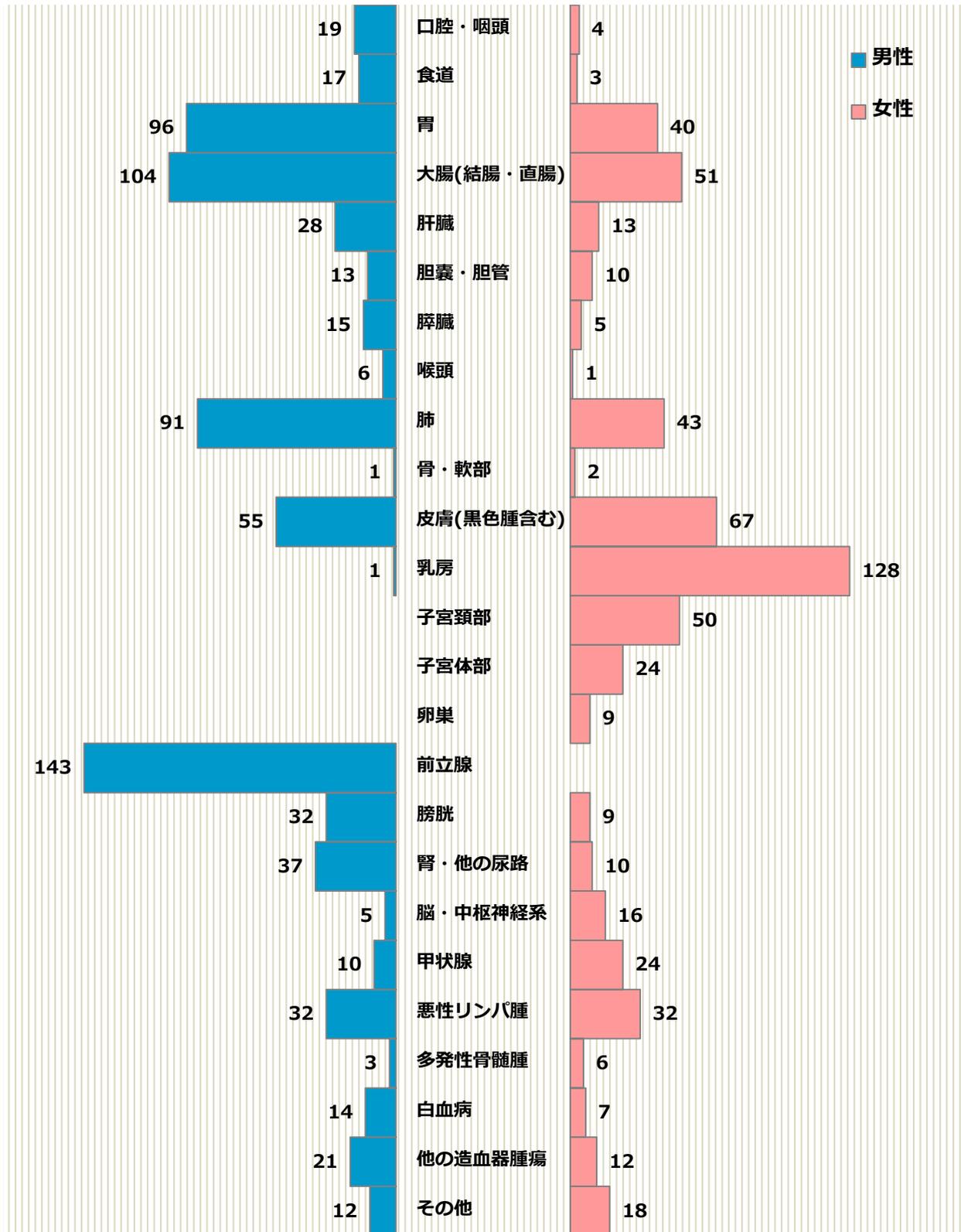


1. 部位別男女別登録数 (男性 755 女性 584 合計 1339)



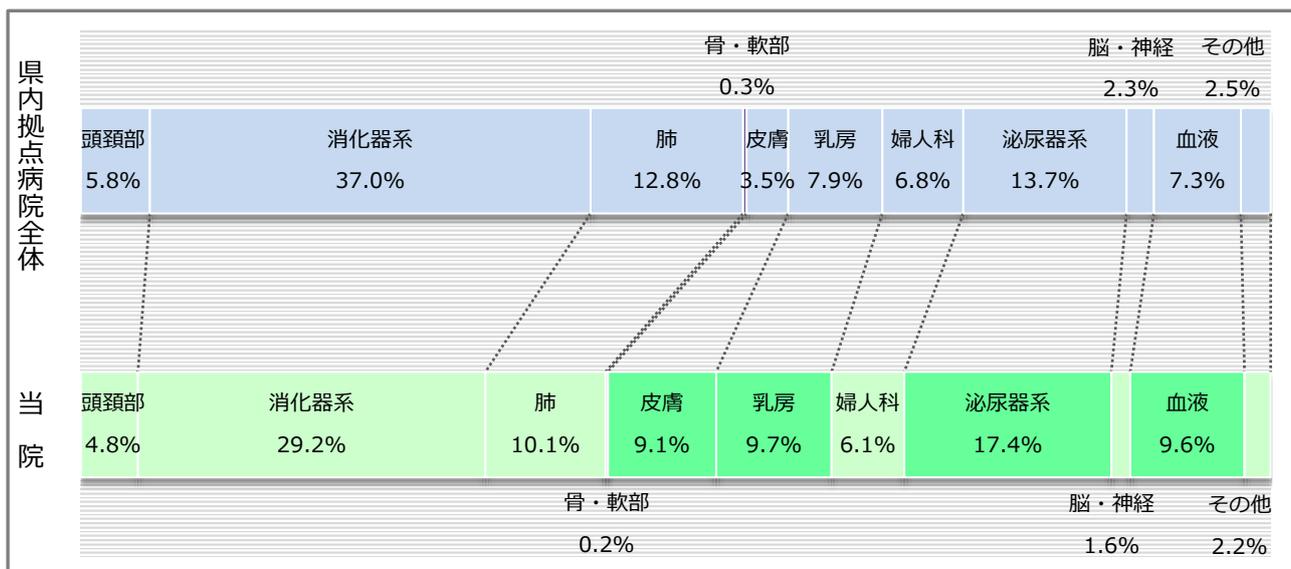
2. 部位別治療方法別登録数

	手術のみ	放射線のみ	薬物のみ	放射線+薬物	手術+放射線	手術+薬物	手術+放射線+薬物	その他	治療なし(経過観察)	合計
口腔・咽頭	6	1	1	6	0	0	2	0	2	18
食道	6	1	1	1	0	2	1	0	2	14
胃	76	0	11	1	0	24	0	0	9	121
大腸(結腸・直腸)	88	0	7	0	0	29	3	0	4	131
肝臓	7	0	4	2	0	2	0	13	3	31
胆嚢・胆管	10	0	0	0	0	7	0	0	2	19
膵臓	5	1	3	0	0	3	0	0	6	18
喉頭	0	4	0	1	0	0	1	0	0	6
肺	44	7	16	11	1	18	3	1	15	116
骨・軟部	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3
皮膚(黒色腫を含む)	103	0	0	0	0	6	0	0	1	110
乳房	2	0	0	0	1	19	23	0	2	47
子宮頸部	31	0	0	0	0	4	0	1	2	38
子宮体部	10	2	1	0	0	10	0	0	1	24
卵巣	0	0	5	0	0	3	0	0	1	9
前立腺	96	0	31	0	0	3	0	0	1	131
膀胱	7	0	0	0	0	22	1	1	2	33
腎・他の尿路	33	0	2	0	0	8	0	0	1	44
脳・中枢神経系	0	1	0	0	0	0	0	0	11	12
甲状腺	25	0	0	0	1	0	0	0	2	28
悪性リンパ腫	0	1	40	4	0	0	0	0	11	56
多発性骨髄腫	0	0	5	0	0	0	0	2	1	8
白血病	0	0	10	0	0	0	0	3	3	16
他の造血器腫瘍	0	0	4	0	0	0	0	3	21	28
その他	11	4	2	1	0	2	1	0	5	26
合計	562	22	143	27	3	162	36	24	108	1087

※当院で初回治療を開始した症例の登録数です

部位別登録割合からみる当院の特徴

下のグラフは、香川県内がん診療連携拠点病院全体の登録数と当院の登録数に占める部位ごとの割合を示したものです。当院のグラフの方で色が濃くなっている「皮膚」「乳房」「泌尿器系」「血液」は県内拠点病院全体の割合より高くなっており、より多くの患者さんを診ていると考えられます。



※補足※

「頭頸部」は 口腔・咽頭、喉頭、甲状腺の合計

「消化器系」は 食道、胃、大腸、肝臓、胆嚢・胆管、膵臓の合計

「婦人科」は 子宮頸部、子宮体部、卵巣の合計

「泌尿器系」は 前立腺、膀胱、腎臓、腎盂、尿管の合計

「血液」は 白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群などの合計

「皮膚」 特に割合が高く、部位別治療方法別登録数をみてもわかるとおり、がんに対し多くの手術が行われています。 [皮膚科のホームページへ](#)

「乳房」 当院で手術などの初回治療を開始される患者さんのほか、他院で手術後に放射線治療のために受診される患者さんも多くいます。 [胸部・乳腺外科のホームページへ](#)

「泌尿器系」 県内で初めて手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入し、前立腺癌などで精度の高い低侵襲の手術が多く行われています。 [泌尿器科のホームページへ](#)

「血液」 白血病などの治療方法である造血幹細胞移植ができる四国内9施設のうち、1番の症例数を誇っています。 [血液内科のホームページへ](#)